

## 共育だより

— “なぜそうするのか”を伝えながら、一つひとつを丁寧に —

令和4年4月28日 No.1 第一幼稚園・クロワッサン保育園

令和4年度がスタートして早、ひと月が過ぎようとしています。進級・入園を迎えられたお子様は、新しい環境での生活に慣れようと、それぞれが今できることを精一杯頑張っています。これからゴールデンウィークを挟み、初夏の陽気も加わって疲れが出てくる頃だと思います。休日は無理をせず、ゆとりを持ってお過ごしください。

さて、2020年1月に日本で初めての感染者が確認されて以来、この2年余り、私たちは日ごろの安全対策に加え、全容が解明されない新型コロナウイルスから子どもたちの命を守ることを最優先に、基本的な感染症対策を徹底してまいりました。そのためお子様の園での様子は、映像等を中心にお知らせする形となりましたが、保護者の皆様には、園の「安全」に対する基本的な考えにご理解いただき、様々な面でご協力を賜りました。今年度も状況に応じた対応を行ってまいります。引き続きご理解、ご協力の程、お願い申し上げます。

本園では、パートナーである保護者の皆様に園での取り組みを“なぜそうするのか”を含めて、できるだけ具体的にお伝えしています。その一環として発行している「共育だより」第1号では、『しせい教育』の下、私たちが日頃から繰り返し子どもたちに伝えている『自分の命は自分で守る(安全面)』、や基本的生活習慣の獲得に向けて大切にしている「基礎・基本の徹底」等についてお知らせいたします。子ども達がどのような環境(場所・周囲の人等)に身を置こうとも、応用の効く基礎力を身につけてほしいという願いを込めて、ご家庭でも是非お子様と一緒に考え、実践していただければと思います。子ども達と一緒に私たちも成長していきましょう。

### — 安全 —

#### 【自分の命は自分で 守りましょう】

- 車・水・暑さ・感染症等からの命の守り方についてお子様と考えてみましょう。
- ◎なぜ、そうするのかを分かりやすく伝えましょう。  
(例1) 手をつながずに一人で道路に飛び出したらどうなるのでしょうか。  
(例2) 外で遊ぶときは、なぜ帽子を被るのでしょうか。  
(例3) なぜ、喉が渇く前に水を飲むのでしょうか。



### — 基本的生活習慣の獲得に向けて —

#### 【笑顔で気持ちのよい挨拶をしましょう】

- 家族みんなで、心を伝える挨拶(言葉)を交わしましょう。  
★挨拶はコミュニケーションの第一歩です!

#### 【うがい・手洗いを 丁寧にしましょう】

- ◎なぜ、うがい・手洗いが必要なのか、お子様が分かるように伝えましょう。
- お子様の横で一緒にうがい、手洗いをしながら、やり方を確認しましょう。(音楽等工夫を!)
- ★どのようなことが丁寧なのか理解できるとよいですね。

#### 【履物を揃えましょう】

- 玄関、トイレ等の履物は、どのように置くと気持ちがよいのか、お子様と一緒に考えてみましょう。
- 自分が次に使う時、どのように置いてあると使いやすいのかも話し合ってみるとよいですね。



①と②のどちらがよいですか?

お子様と“一緒に考えよう”  
“一緒にやってみよう”という大人の姿勢は、お子様の自発的行動に繋がります。大切な基礎・基本については、繰り返し声を掛け、共に実践し、意識化していきましょう。

#### 【良いところを みつけましょう】

- 日頃から家族みんなでお互いの良いところを見つけ、言葉で伝え合いましょ。良好なコミュニケーションが生まれます。

#### 【絵本タイムを作りましょう】

- 大好きなお家の方の傍で絵本を読んでもらうことで、お子様の気持ちは落ち着くことでしょう。また、大人もリラックスができる絵本タイムを楽しみましょう。  
★愛着関係の形成に繋がります。

#### 【適度に体を動かしましょう】

- 室内では、親子体操等いかがですか。
- 戸外では、お子様と安全の約束をした後体を動かしましょう。※3密に注意!
- ★体が動くとき心も動きます。

#### 【楽しく食事を摂りましょう】

- バランスの良い食事をできるだけ家族揃って楽しい雰囲気の中、食べましょう。  
★体と心に栄養を!
- お子様と一緒に配膳の準備等いかがですか。

運  
動

食  
事

## 互いに成長し合う 異年齢交流

毎年、新年度が始まると、年長組の子どもたちが様々な場所で新入児さんのお世話をする姿が見られます。ここ2年間は、新型コロナウイルスの感染症対策のため自粛していましたが、今年度は状況を見ながら少しずつ再開しています。(ホームページ日記の欄でもご紹介しています。併せてご覧ください。)

具体的には、朝の登園時に新入児のお友達を靴箱で迎え、靴の履き替え(外靴→上靴)を見守り、必要に応じて手伝いながら、手を引いてそれぞれの生活スペースに連れて行ってあげるといったものです。涙が出ている新入児さんもお兄さん、お姉さんたちが優しく接してくれると、表情が徐々に和らぎ、少しずつ笑顔に変わっているようです。「ありがとう。」という私たちの声掛けに、満足げな表情で応え、何度も階段ののぼり降りを繰り返す年長さん。こうした異年齢のかかわりは、新入児さんの安心感は勿論のこと、年長児にとっても“役に立っている”ことを実感でき、自己充実感に繋がっているようです。

今後も無理をせず、自然な形で互恵性のある異年齢交流をすすめていきたいと思っています。



全部やってあげるのではなく、ある程度まで様子を見守りながら、困っているときに手伝ってほしいと伝えています。



つなく手と手に  
心もつながります



年長組以外のお友達でも「いっしょにやろう！」の気持ちを行動で表しているお友だちが見受けられます。心が温かくなる光景です。



## 一人ひとりの「じぶんでできた！」を大切に

集団生活で恐らく初めて経験するであろう“上靴履き”。入園当初の新入児さんは、一生懸命一人で履こうとするものの、「できない」と途中で諦めてしまうこともあります。「一緒にやってみよう」と声を掛けたり、土・日の休みにご家庭で履く練習をお願いしたことで、自信を持って履けるようになったお友だちもいます。ひとりでも多くの子どもたちに、「じぶんでできた！」という喜びを実感してほしいと思っています。

また、年中・年長組の中には、立って上靴を履くお友だちが増えてきました。(左下①②参照)日常生活において発達に見合った動作を積み重ねることで、子どもたちはバランス能力(平衡感覚)を身につけていきます。これまでやってきた(座って履く)から何となく続けている…といった動きがないか、園とご家庭とで見直し、基礎・基本を意識した体づくりに繋がっていきましょう。

更に、園では、子ども自身が気づき、考え、判断し、行動できるような環境作りに努めています。“なぜそうなのか”が分かると、先生や友だちがいなくても自分で行動ができるようになっていきます。

①



②



自分で見て、考えて、どちらに行けばよいのか判断して行動しています。

いつも通り2階へ上がったお友だちです。立ち止まる姿に「今日はお部屋中を通ろうね。それは、雨が降っているからだよ。」とその理由も丁寧に伝えています。



【編集後記】現在、私は昇降口(靴箱周辺)に立って子どもたちを迎えています。「おはようございます。」という私の言葉かけに気持ちの良い挨拶が返ってくると、本当に清々しい気持ちになり、『今日も頑張るぞ!』という元気が出てきます。中には、自分から元気いっぱいの挨拶をしてくれるお友だちもいます。きっとご家庭で毎朝、挨拶を交わしていらっしゃるのでしょう。“当たり前前”のことが当たり前前”にできる”ことが大事ですね。[編集後記:子育て支援 北村]